



## 今年は干ばつと大雨に注意 今古賀三島神社「粥占い」

今古賀の三島神社で3月20日、粥に生えたカビの具合で、今年の農作物の出来具合や災害などの吉凶を占う伝統行事「粥占い」が行われました。1月15日に地元の人が炊いた粥を容器に入れて、同神社の神殿の下に保管。約2か月たったこの日に、地元の区長と顧問の4人が、容器のふたを開けてカビの生え具合を詳しく調べました。今古賀地区の北や西はおおむね豊作ですが、東で干ばつ、南で大雨や水害に注意という結果が出ました。

## 無声映画の良さに陶醉

## 「粹・生き・懐古」をテーマに水の郷まつり

水の郷まつりが3月17日に行われました。今年のテーマは「粹・生き・懐古（レトロ）」。大正から昭和の初めにかけて流行した無声映画の上演も行われました。無声映画は活動写真弁士が場面の説明や役者のせりふを語ります。この日は麻生八咫さん、子八咫さん親子が弁士を務め、八咫さんが「国定忠治」と「臉の母」を、娘の子八咫さんがチャップリンの作品2本を熱演。来場者は二人の巧みな話術に引き込まれていました。



熱弁を振るい国定忠治を演じる麻生八咫さん

川柳を募集しています。選句者は梅崎流青さん。5月の課題は「明日」です。入選作品は5月1日号に掲載します。

● 応募方法 川柳と明記し、自作、未発表の作品（※1人3句以内）に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスまたは直接、柳川市企画課広報広聴係（☎77-8425、FAX74-5520）へ、4月15日（※必着）までにお送りください。

歯車が止まる明日を噛みこんで

子離れをしてより強い絆かな  
気がつけば親に似てている我が仕草  
風呂に入り親と子供のさわぐ声  
丹前の父の形見を羽織る冬  
親ゆづりくしゃみ一発遠慮なし  
親心眼半分ふさぐこと  
親不孝ばかりの人生振り返る  
母見舞いハッパかけられ春がくる  
冬来れば母さんの手があかぎれる  
母親のせなかのにおいいいにおい  
かたぐるま高くてこわいでもうれしい  
なかいいなみにうかぶよ親こがも  
親鳥のせなかみながらはばたくよ

古賀治美	徳永エツ子	甲斐田園一	池田美幸	吉開綾子	坂田信幸	梅崎省二	松浦雅大	藤原百合香	浦原香か	森もり	堤つみ	堤つみ
(南浜武)	(得益)	(吉富町)	(佃町)	(鷹ノ尾)	(筑紫町)	(佃町)	(中島小6年)	(中島小3年)	(中島小2年)	(中島小2年)	(中島小2年)	(中島小2年)
吉原												
結ゆ	あ	奈な	ゆ	香か	百合香	雅大	大	百合香	香か	森	堤	堤
結ゆ	あ	奈な	ゆ	香か	百合香	雅大	大	百合香	香か	森	堤	堤

父の意見に首を縦に振ることはいつもしてできず石を蹴り夜道を歩いた。あの日の自分が今ここにいる。「正反対」というのは父への愛だったと思う。小学生たちの親を思つ心に春風に似た温かさを感じる。母の手のあかぎれの具合をそつとのぞいている春の午後。	父の意見に首を縦に振ることはいつもしてできず石を蹴り夜道を歩いた。あの日の自分が今ここにいる。「正反対」というのは父への愛だったと思う。小学生たちの親を思つ心に春風に似た温かさを感じる。母の手のあかぎれの具合をそつとのぞいている春の午後。
肩車父の背高く山遠く	肩車父の背高く山遠く
親の手に我が手を重ねかたりかけ	野片義博 (隅町)
ウインドウ写るはわれか亡き母か	古賀文化 (田脇)
親と子の電話の声の瓜ふたつ	黒田和代 (吉富町)
西の空父母在りしかと手を合わす	佐田輝喜 (明野)
梅満開数え切れない親の恩	田中位緒枝 (豊原)
母の日に似顔絵書いた娘も親に	荒巻ミエノ (南浜武) (弥四郎町)
鳴鳥は羽とつゝ飛を出す	森 フチエ (高野)

水も人も  
キラリ

---

川柳

## 今月の入選作品・課題「親」

# 市民のひろば

身近な話題などお知らせください！  
情報をお待ちしています



掘割沿いからの声援に笑顔で答える乗船者

# 稚児らが春の水郷を彩る おひな様水上パレード

市内の川下りコースで3月17日、「おひな様水上パレード」が行われました。これは、2月に始まった柳川ひな雛祭り・さげもんめぐりのメインイベント。おひな様やお内裏様、着飾った稚児ら約200人が10艘の舟に乗り、沖端から三柱神社までの約4キロメートルをパレードしました。掘割沿いには大勢の観光客やアマチュアカメラマンが待ち構え、水郷の春の催しを撮影。稚児たちはカメラに向かって「こんにちは」と笑顔で手を振りながら、ゆったりと進んで行きました。

## 希望に胸ふくらませ学びやを巣立つ

## 市内の小中学校で卒業式

3月15日に市内中学校で、19日に小学校で卒業式が行われました。今年、市内で卒業を迎えた中学生は657人、小学生は674人でした。

第120回の卒業式を催した中山小学校は12人が卒業しました。田中博昭校長は「皆さんには昨年の水害で助け合いの心を学び、汗をかき、知恵を出してきました。これから財産になるはずです」と卒業生を激励。6年間を振り返った卒業生は、最後に在校生へ「よき中山小学校を築いていってください」とエールを送りました。



田中博昭校長（左）から卒業証書を手渡される卒業生



フラダンスサークルが息の合ったダンスを披露した

## 会員が 1 年間の成果を披露 市文化協会連合会「第 4 回芸能祭」

市文化協会連合会は3月10日、第4回芸能祭を市民会館で催しました。柳川、大和、三橋の各文化協会に所属する団体やサークルが、1年間の練習の成果を発表するイベント。吟詠やカラオケ、日舞、3B体操など68の演目が披露されました。式典で同連合会の山下千鶴子会長は「約2300人の会員が感性を育て、こぞって練習を積んだ発表の場。最後までご鑑賞を」とあいさつ。式典後のバレエの発表で、小さな女の子8人がかわいい踊りを披露すると、会場から大きな拍手が送られました。